

論文試験

(注意事項)

- 一 本試験問題は指示があるまで開かないこと。
- 二 本試験問題は（この表紙と白紙を除き）10頁、解答紙は3枚である。「始め」の合図があつたら、それぞれ確認すること。
- 三 解答文は横書きとし、所定の解答欄に記入すること。
- 四 論文試験の筆記具は、B又はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用することとし、それに従わない答案は無効とする。
- 五 ラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題検討のために、問題用紙及び答案構成用の下書き用に限り許可する。

第1問 次の文章①および文章②をよく読んで、問(1)・(2)に答えなさい。

【出典】文章①：松宮孝明『過失犯論の現代的課題』（成文堂、2004年）361頁－366頁

文章②：中山研一・浅田和茂・松宮孝明『レヴィジョン刑法3 構成要件・違法性・責任』（成文堂、2009年）413頁－414頁

※なお原典の脚注は省略し、必要に応じて [] で内容を補足した。

問(1) 空欄(1)の中には、文章①の中の他の箇所の記述がそのまま入る。その当てはまる記述を、18字以上25字以下で文章①の中から抜き出して記述しなさい（なお記述を抜き出して記述する際には、必ず連続した記述を引用し、複数個所の記述をつなげではない）。

〔配点:20点〕

問(2) 傍線部(2)に関して、「将来の同種事故の予防を目指すものJであることを前提にしつつ、「このような」刑事過失責任の追及をすることが、「場合によって」、「逆効果と思われる側面もある」、とは、具体的にどういうことを指し示していると考えられるか。文章②の内容も手掛かりにしつつ、「事故の原因解明と予防対策の確立」という観点から、300字以上400字以下で説明しなさい。

〔配点・100点〕

第2問 以下の文章をよく読んで、設問に答えなさい。

【出典】プラトン(加来彰俊訳)『ゴルギアス』（岩波書店・1967年）61頁－71頁
(脚注等を省略)

問1 下線部1のポロスの発言は、なぜソクラテスによって非難されたのか。一五〇字以上二〇〇字で説明しなさい。(30点)

問2 以下の概念相互の関係を、本文の内容に沿って三五〇字以内で説明しなさい。必要であれば、適宜区別の基準を補うこと。(40点)

立法術 弁論術 体育術 ソフィストの術 技術 政治術 医術 料理法 化粧法 司法
経験 迎合 最善 身体 魂 快

問3 弁護士の業務が「迎合」に陥らないためにはどうすべきか。本文を踏まえ、具体例を挙げながら、あなたの意見を四〇〇字以上五〇〇字以内で述べなさい。(60点)